

# 患者総合サポートセンターたより

2025年1月発行 新潟医療センター 患者総合サポートセンター

新年あけましておめでとうございます。今年も「患者総合サポートセンター」をよろしくお願いいたします。今号では、新しく着任した職員の紹介と昨年行われた、こぼりの広場のご報告をさせていただきます。

## 年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

【患者総合サポートセンター】にとって令和6年は、大きな変化のある1年となりました。念願であった4部門（地域連携室・医療福祉相談室・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所）が1フロアに機能集約され、新メンバーに医師事務作業補助者が加わり、新体制となりました。地域のニーズに貢献できる病院であるために、院外関係機関との連携にも力を注ぎました。迎えた令和7年も、センター一同で協力しあい、患者様が安心して当院を利用いただけるよう、外来・入院から退院まで一連の支援に努めてまいります。今年もよろしくお願いいたします。

患者総合サポートセンター  
ソーシャルワーク科 科長 菅原邦子

## 新しく着任しました！

9月から患者総合サポートセンターの退院支援看護師として配属されました。退院支援に特化して働くことは初めてなので、病棟の看護師業務との違いに戸惑いもあります。しかし、部署のスタッフに助けていただきながら、患者さんができる限りその人らしく暮らせる環境への退院をお手伝いできるよう頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

退院支援看護師 看護師長 佐久間



昨年12月より患者総合サポートセンターの退院支援看護師として配属になりました。油揚げでお馴染みの旧栃尾市出身で、山々や田んぼに囲まれて育ちました。配属になる前は病棟で勤務していました。

専門的に退院支援に携わるのは初めてなので、わからないことも多くありますが、今まで得た知識や経験も活かし、患者様とご家族様が不安なく退院の日を迎えられるよう、支援介入を精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

退院支援看護師 遠藤

## 第13回こぼりの広場 開催報告

- ◆開催日：令和6年12月19日 参加者：院外17名、院内24名 合計41名
- 院外：地域包括支援センター小新小針、在宅医療・介護連携ステーション西、行政、小新小針圏域のケアマネージャー、介護保険施設（特養・老健・小規模多機能）
- 院内：医師、外来・病棟看護師、患者総合サポートセンター

### ◆内容

『病院・医院・福祉施設・在宅の間でどのように情報を伝えるべきか』をテーマに

今年度、過去2回開催されたグループワークを下記表にまとめ、オレンジ色の当院で取り組み始めた内容を踏まえ、意見交換を行いました。

## 第12回こぼりの広場 グループワーク まとめ



★こぼりの広場に参加された院内スタッフの声です。

### 関係構築

- 連携の大切さが身に染みた
- 外部の方々からの意見が、院内の退院支援や連携に取り入れられると良い

### 中間カンファレンス

- 必要性を再確認した
- 今後積極的にやってみて、変化があるかどうかを意見としてもらえるといい
- 地域の医療・介護を支える多くの職種の方とカンファレンスを通し、協力体制が強化できることはすばらしい

### 情報共有

- 在宅側と医療側の視点の違いや、欲しい情報・タイミングの違いを知ることができた
- ケアマネージャーがどのような情報が必要か明確になりよかった
- 地域の多職種の困り事が分かり、病院側がどう動けばよいか考えられた
- どの時期から多職種と情報共有したら良いか、いろいろな立場から聞いてみたい

### 統一した情報シート

- 実際に知りたい情報を効率よく共有する書式を「こぼりの広場」で時間をかけてつくってはどうか

「こぼりの広場」を通して、院内外との連携や情報共有の重要性を感じられたという意見が多く聞かれました。院内外との連携や情報共有はどうあるべきか考える機会になったと思います。

（患者総合サポートセンター寺野・有吉）